

令和6年度 第2回 野洲市男女共同参画審議会 議事録要録

●日 時

令和7年3月17日（月）14:00～15:10

●場 所

野洲市人権センター2階 交流研修室

●出席委員（委員区分毎・50音順）

1号委員：勝身 真理子委員、田中 ふじ江委員、藤池 弘委員、馬淵 眞壽美委員

2号委員：新庄 寛子委員、鈴木 あつ子委員、辻 和典委員、

4号委員：加藤 庸子委員

●欠席委員（委員区分毎・50音順）

2号委員：中村 新伍委員、堀江 さや美委員、森岡 茂樹委員、山本 芳隆委員

●野洲市人男女共同参画推進本部

櫻木本部長、北脇副本部長、川尻総務部長、北脇議会事務局長、布施政策調整部長

中塚市民部長兼危機管理監、井出健康福祉部長

井狩健康福祉部政策監（高齢者・子育て支援担当）兼こども家庭局長、

岡崎都市建設部長、西村環境経済部長、田中教育部長

●事務局

澤本人権施策推進課長、辻村人権施策推進課係長

山本人権施策推進課主査

●傍 聴 者：1人

1. 開会

2. 男女共同参画推進本部長（市長）あいさつ

3. 自己紹介

4. 会長、副会長の選出について

審議会委員の中から互選により、会長：馬淵 眞壽美委員 副会長：田中 ふじ江委員

5. 「第5次野洲市男女共同参画行動計画」策定にかかる諮問について

男女共同参画推進本部長（市長）から馬淵会長へ諮問を行った。

6. 議題

（1）「第5次野洲市男女共同参画行動計画」策定の考え方（案）について 資料1

—事務局より資料説明—

◇委員からの主な意見・質問

【委員】確認をさせていただきたいんですけども審議会と推進本部と分けて書いていただいています。推進本部の方は5月に第4次行動計画の実績報告事業計画の集計分析というのはあります。これは年度であって、過去4年間の分析の方でよろしいでしょうか。もし、それができるのであれば、審議会の中にも4年間の集計、分析も報告をいただけたらと思います。

それともう一点、7月に「市民意識調査の集計結果の詳細について」ということで今日は意識調査の結果をお出しいただけるんですけども、何かもうちょっと詳細に検討される予定があるのか確認をさせていただきたいと思います。。

→（事務局）失礼いたします。委員から第４次行動計画実績報告事業計画の集計分析につきましてご意見いただきました。こちらの方もおっしゃっていただいた通り審議会におきましてもご審議いただきたいと思っております。

また２点目の市民意識調査の７月における「市民意識調査集計結果の詳細について」と本日の３月の市民意識調査の集計結果の報告、詳細がついているかついてないかというところになるんですけれども現在、令和７年度の予算を議会の方で要求させていただいており、ご審議いただいているところでございます。こちらの調査結果の分析、支援業務につきまして現在、申し上げた議会で承認いただければ、支援業務の委託を実施することになっておりますので、こちらで専門的な知見でありますとか公益的な意見等、支援業務の方からいただけたらと思っておりますので、この７月の審議会では、もう少しクロスチェック等詳しいご報告ができるのではないかとと思っております。

【委員】はい、ありがとうございます。そういう集計報告は、失礼な言い方ですけど、私も以前、そちらの立場におりましたので、本当に統計的な分析とかそういうことがなかなかできなかったもので、前回の審議会でもそういうことが必要ではないかという意見を述べさせていただいたんで議会が通ることを願っておりますし、できるだけ早く定例会後、早く着手をしていただきたいと思います。

もう一点、遡りますが実績報告なりの集計分析につきましても、数字的な根拠というか、これも前回の審議会でも申し上げたんですけども、それに基づいた分析というのをさせていただけたらありがたいと思います。

これは前回もお願いしましたので重ねて今回お願いをしておきます。

【委員】失礼します。「資料１」ご説明いただきました策定の概要のところに関して確認をさせていただきたいんですけども、基本理念、基本目標、主要課題、施策の方向は原則として第４次計画行動計画の通りという表現になってるんですけども、今のご説明でも文言と詳細の内容についての修正といったようなお話だったかと思うんですが、策定の趣旨のところのご説明いただきました。また、次のページの（３）ですかね意識調査とか検証結果とか審議会の意見を反映したものにするということもお書きいただいているので、ここはあくまでも原則としてということでご支援と分析結果なり、意見調査、市民の皆さんの意見の結果なり審議会なりを踏まえた上で、これら計画体系についても検討の見直しをする対象であるというふうな理解させていただいていいのかということをやっと確認だけさせていただきたいと思います。

→（事務局）失礼いたします。なにぶんこの第４次行動計画の策定につきましては、５年前になりますので今、現在と５年が経過して時間軸でいきますと進んでおるものでございます。ですので今にあった体型もそうですし文言修正もございますのでそちらにあったように変更、修正等させていただきたいなと思っております。

【委員】資料１の方なんですけども、そのままかどうかは今後何かあると思うんですけども、これをベースにして考えた場合、DV防止法の計画も加味しているということで、それが基本目標、現計画でいうと基本目標Ⅱの重点課題の５に当たるかなと思うんですけども、やっぱりDV防止法による計画であれば、そのことも明示した方が分かりやすいのかなと言うふうに思います。他市を見ても甲賀市はそのための計画を別に作ってる所もありますし、守山市は表現の下にDVの計画ということを書かれてる

んでそういったところも検討の余地があるのかなと思いました。

それともう一点、冒頭の会長のあいさつにありましたようにジェンダーギャップで滋賀県が行政部門ではかなり上位になっているということを私もニュースで観ました。それは何かというと、県は防災会議というのがわかりませんが、その委員をかなり女性の方を増やされて、避難所の色々な改善とか特に繋がられているということもありますので、本市におきましても、その防災、これから災害、大きい地震が迫ってるんじゃないかといろんなこと言われていますのでそういう視点での防災計画でうたわれているかもしれませんけども男女共同参画という視点でそのことを明示した方がいいのかなと思います。

それともう一点、これは私の取り越し苦労かもしれませんが、「基本目標Ⅱの重点課題4 国際的な取り組みとの協調」ということで、今までは国際的な流れが、言い方がおかしいかもしれませんが前向きというか、アメリカの大統領が指名されると変わってくるということで、最近「DEI」 多様性、公平性、包括性ということをやめていこうという企業がアメリカでは多くなっている。日本でも大手の企業が、あんまり取り組まないというような方向に流れているようなことも聞いてます。それは我々の進んでいこうとすることと逆行することなので、この「協調」という文字ではない何か適切な言葉に変えるべきで、中身は「協調」という部分だけに、いろんな国際状況を把握した上で市民にケアすることだと思っんですけども、ここで「協調」という文字がちょっと私自身も個人的な話で申し訳ないんですけども、ちょっと引っかかったんで、その辺もこれをベースに考えていただければ、ちょっと検討していただけたらなと思います。

→（事務局）ありがとうございます。ご意見、検討させていただきます。

【委員】今の政策体系に関してなんですけども今回の内容かと思ったので、ちょっと触れなかったんですけども、今ちょっとご意見もあったので、この政策体系の委員のご発言がありましたけれども、今期作る計画というのは、今の人口減少社会に向けてジェンダーギャップも日本そのものは解消されないとかジェンダーギャップ指数そのものが解消されないままに推移をしてきてるところの中で人口減少と地方創生ということが今国の方でも審議をされていて、若い若者女性に選ばれる地方という、そんな視点への観点で地方創生2.0が進められようとしています。そうした中で野洲市としての政策体系は基本原則、これというお話もありましたけれども重点的にどういったところに力を入れていくのかというのが今後ご検討される中で見えていくといいのかなと政策体系だとどうしても全般にわたって計画を立てられ、全庁的な取り組みとして進められるかと思うんですけども、野洲市にとって今一番何が大事なのか、どこに手を打てばいいかというところを今後の検証の中で何か見えてきたものを、基本目標のさらにその重点といいますか、重点的にこれを取り組みたいんだというようなことを何か取り組みとして進められるものがあればいいし政策体系の中にも何かそういう重点的に取り組むものみたいな感じで打ち出せるといいのかなということをやっと感想として思いました。

私も防災とジェンダーということで、東日本のときにも入ったりしてたんですけども防災ってやっぱり命に関わることなので、特にジェンダーのギャップは日頃のジェンダーギャップがその災害時において、やっぱり顕在化するっていうか大きく特に女性を初め弱者が影響を大きく受けるということですので最近災害が頻発してる大きな災害が頻発していますのでそういったこともちょっと念頭に置いていただけたらというのが2点目です。

3点目は次回が7月ということですので、多分素案をお示しいただけるということなので、なかなか素案に対して意見申し上げるの難しいかなと思ったりしてお伺いしてたんですけども本日の資料もあら

かじめお送りいただいておりますので次回もまた早い段階でお送りいただけるとありがたいかなというふうに思います以上です。

→（事務局）ありがとうございます。3点ご意見いただきました。それぞれ今後審議会には来年度につきましては3回開催させていただくんですけれども資料の早い送付で皆さんのご意見を広くごちょうだいしたいなというふうには思っておりますし、野洲市として何を一定、力入れるんだってところのご意見につきましても市民意識調査の結果が出てまいりますので、そこで野洲市としては、今何が一体、どの点が不足してるのかっていうのも明らかになってきてございますので、そこで重点的な政策っていうのが明確になっていくのかなというふうに思っております。ご意見ありがとうございます

（2）「男女共同参画に関する市民意識調査」の結果について 資料 2

—事務局より資料説明—

◇委員からの主な意見・質問

【委員】この意識調査の結果については、先ほどのご説明の中で詳細に分析をされるということでしたので、その詳細分析でもちょっと具体的なところがわかってくるのかなというふうに思いますけれども、私ちょっと気になりましたのが、その詳細分析をされる際に、ぜひ委託について無事に議会を通ることを願ってますけれども、年齢構成がご説明にもありましたけれども、アンケート結果ですと、大体半分ぐらいの5割ぐらいの方が60代以上、5割ぐらいになってるんですけれども野洲市の年齢構成を見ますと60代以上で4割弱です。4割弱というのが、これは今年の2月28日現在の何か人口比で見ますと、申し上げたいことは回答された方の年齢層が高いということではちょうど働き盛りの三、四十代とかあるいは若年層の声がなかなか反映されているのかどうかっていうところがちょっと気になるなというふうに思いました今後、分析をされる際には、ちょっとそういうクロス集計もしっかりしていただいて、どの年齢層でこういった傾向があるのかということをご把握していただきたいなというふうに思いましたのとそれと野洲市も地域によっていろんな状況が変わって来たりすると思うので地域クロスにある別地域における傾向も今後見ていかれるのかなというふうにちょっと思いましたのでぜひ単純集計だけ見ると前回と、とても丁寧なアンケート調査だと思って実はびっくりしたんですけれども市民の方の皆さんのご協力、これだけ意見が集まったっていうのもすごく大事なことだなというふうに思ってるんですけれどもぜひそれを生かしていただきたいなというふうに思い、そんな気持ちで今質問をさせていただいております。

それとちょっと気になりましたのかご説明の中にもこの報告書の中にも県の意識調査との比較を少し書いていただいておりますけれども、例えば30ページの男女の地位に関する意識についてというところを見ますと、上のところで、社会全体で見て家庭生活でというふうに聞きますけれども特に家庭生活でっていうところが大きくその男性が優遇されてると思ってらっしゃる方が多いということと、県に比べてもかなりその割合が県よりも思ってたより割合が高くなっているということとか、また右の31ページのところの男女比で見ましてもこの家庭生活におけるところの男性と女性の捉え方がやっぱり大きく違うっていうところも一つ特徴としてあるのかなというふうに思いましたので、また今後の詳細を分析される際に見ていただけたらなというふうに思います。以上です。

→（事務局）今ご意見いただきましたことを踏まえましてクロス集計とか、もう少し詳細な分析等をしてまいりたいと思いますので、よろしくお願いします

【委員】ちょっと関連して、ですけれども若年層とか今の三、四十代の意識の結果が数としては全体の割合が人口比よりも低いというところがありますので、そういう意味では今後パブリックコメントを実施されるかと思うんですけれどもできるだけ若い方の。これアンケート調査 18 歳以上です。もう少し中高生なんかでもいいのかなと思ったりしますけれども、若い方の声もぜひ聞いていただけたらなと、パブリックコメントなんかで工夫していただいて、聞くような機会があれば、何か野洲の未来について若い人たちが考えてくださるっていうのもいいのかなと思って、すいません、付け加えて今後検討ください。

7. その他

（事務局）次回の審議会の日程所掌調整につきましては、先ほどスケジュールでご説明いたしましたように、7 月頃を予定しております。新年度、令和 7 年度になりましたら、具体的な日程調整をさせていただきたいと思いますので、その際にはご協力のほどよろしくお願いします。

男女共同参画推進副本部長（教育長） 閉会あいさつ

8. 閉会